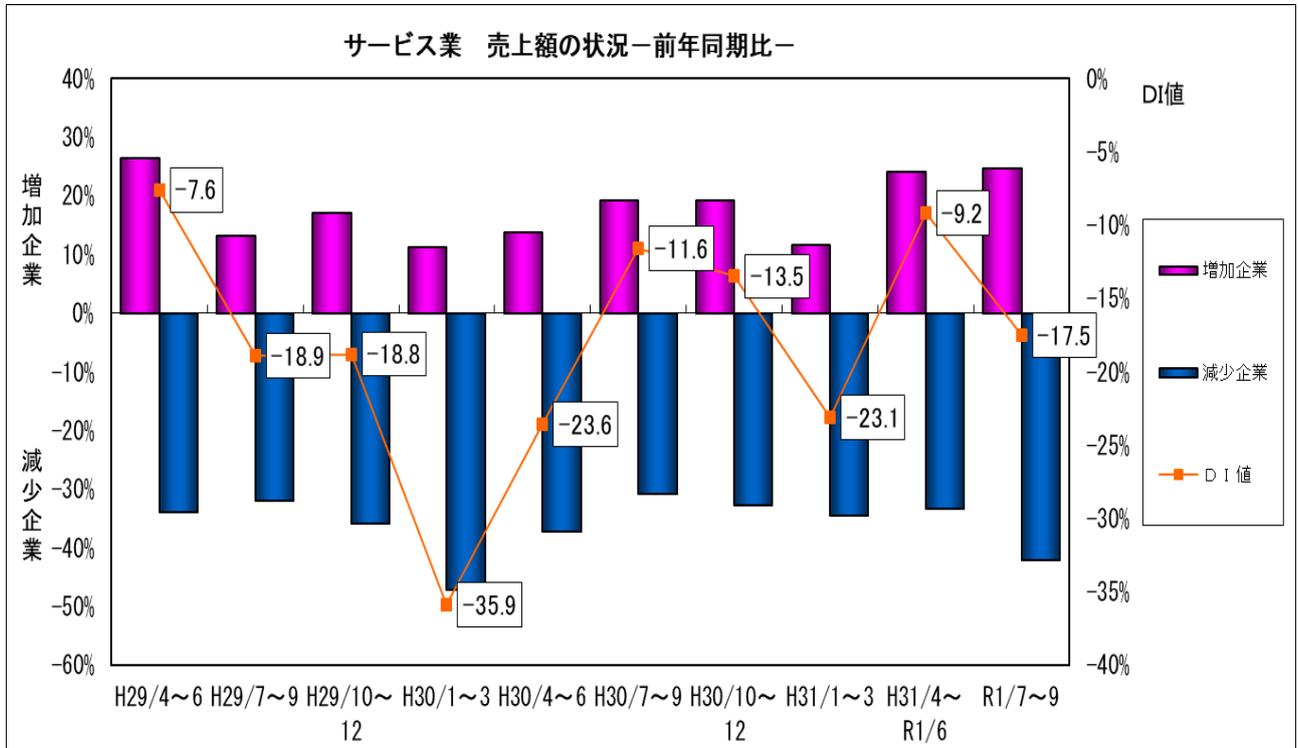




(2) 主要項目の概況

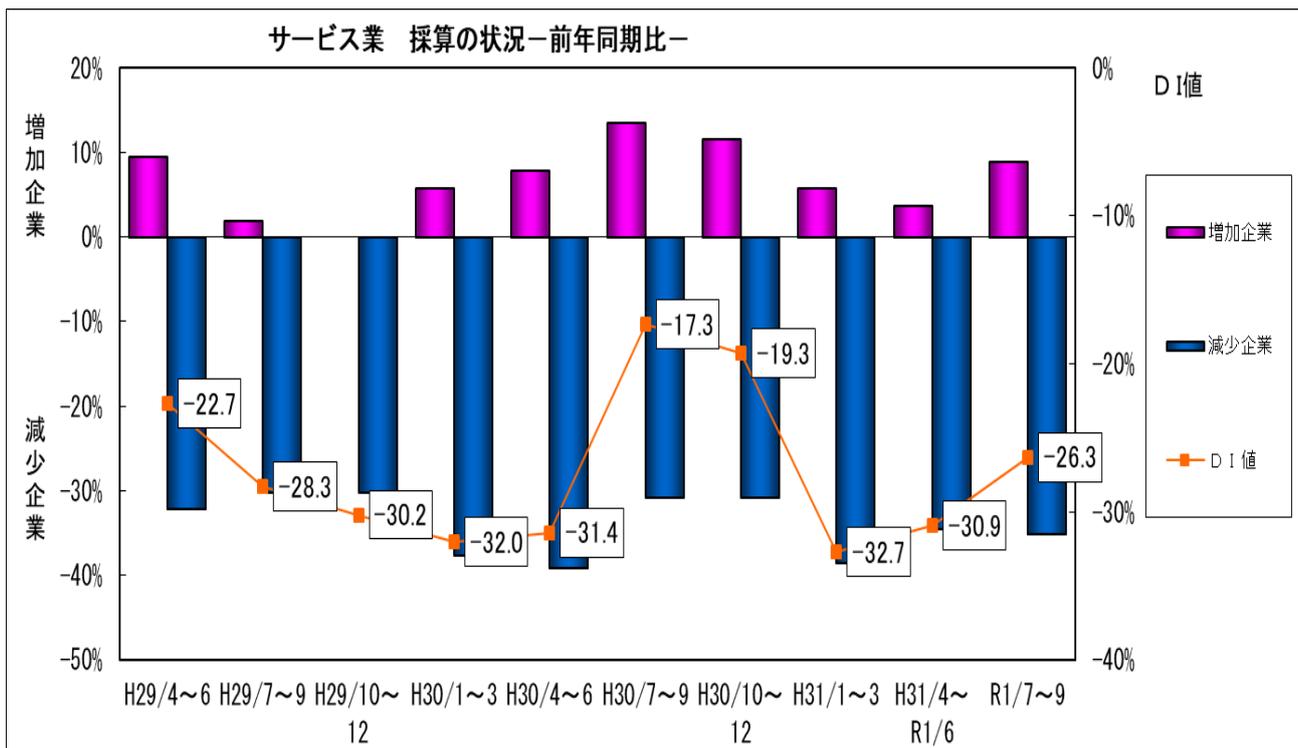
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I 値は、▲17.5。前期の▲9.2 から 8.3 ポイント下降した。  
来期見通しは、▲14.0 とほぼ横ばいの見通し。



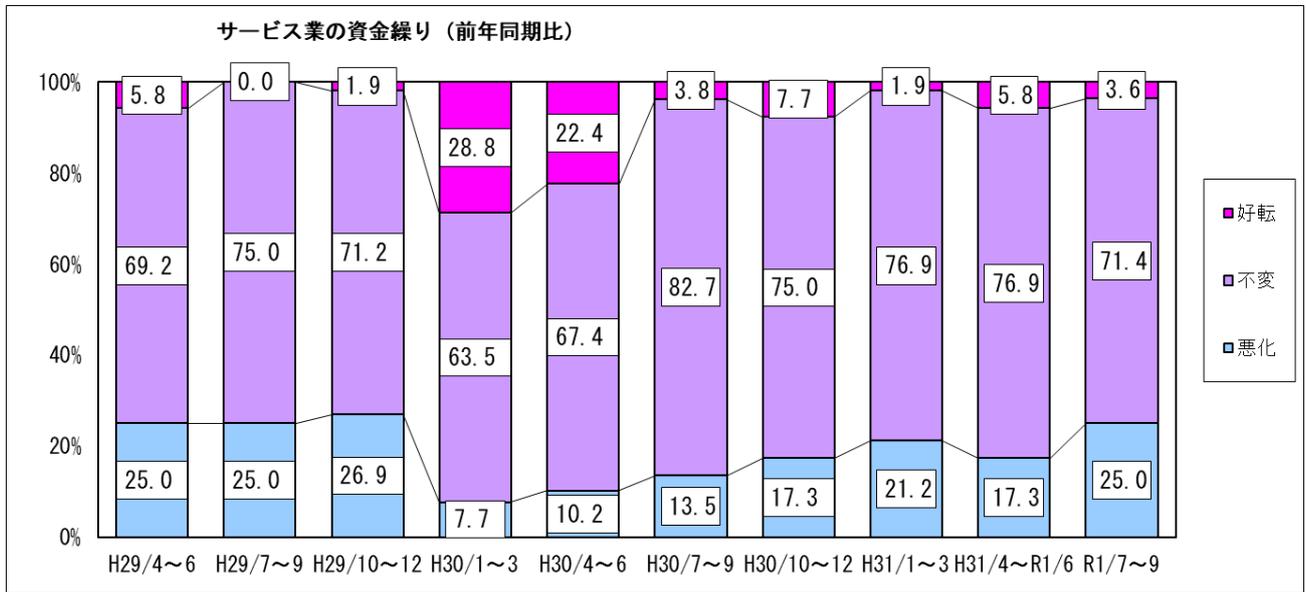
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、▲26.3。前期の▲30.9 より 4.6 ポイント上昇した。  
来期見通しは、▲19.3 と改善の見込み。



### ③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は、▲21.4。前期の▲11.5から9.9ポイント下降した。  
来期見通しは▲21.0とほぼ横ばいの見込み。

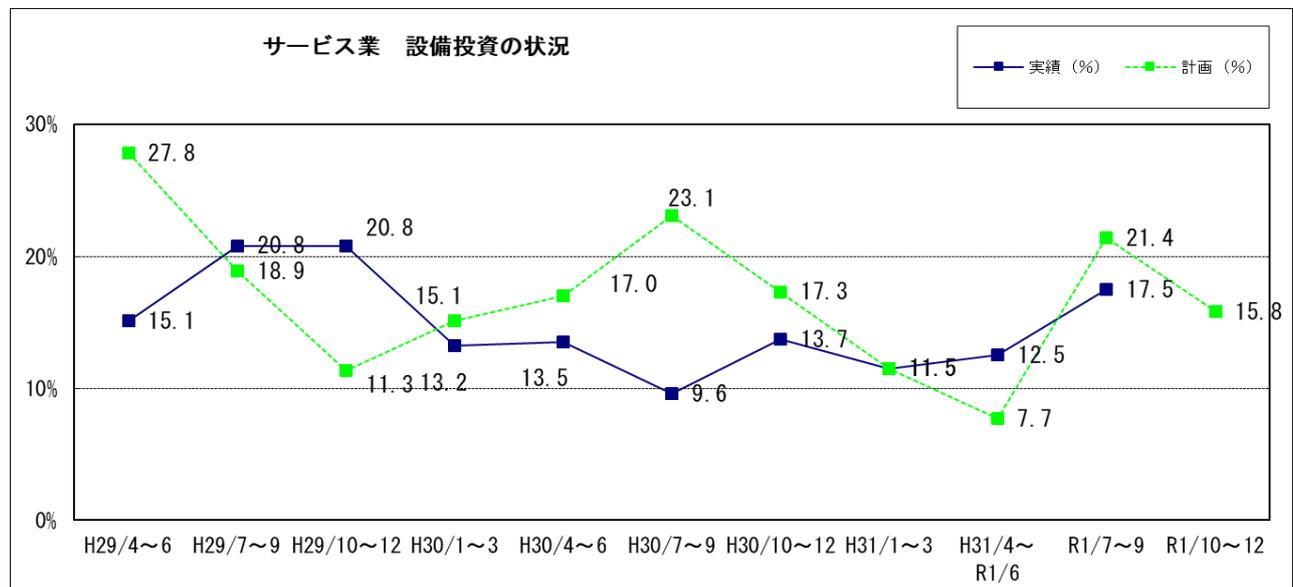


### ④設備投資

#### 新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	7	1	0	0	5	1	0	0	1	49
(%)	12.5	14.3	0.0	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3	87.5
今期実施 (実数)	10	0	1	2	2	2	2	0	2	47
(%)	17.5	0.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	82.5
来期計画 (実数)	9	2	0	2	1	3	1	0	2	48
(%)	15.8	22.2	0.0	22.2	11.1	33.3	11.1	0.0	22.2	84.2

今期設備投資を実施した企業は10社(17.5%)。前期(平成31年4月～令和元年6月期)実施企業7社(12.5%)と3社増加。来期は9社(15.8%)が設備投資を計画している。

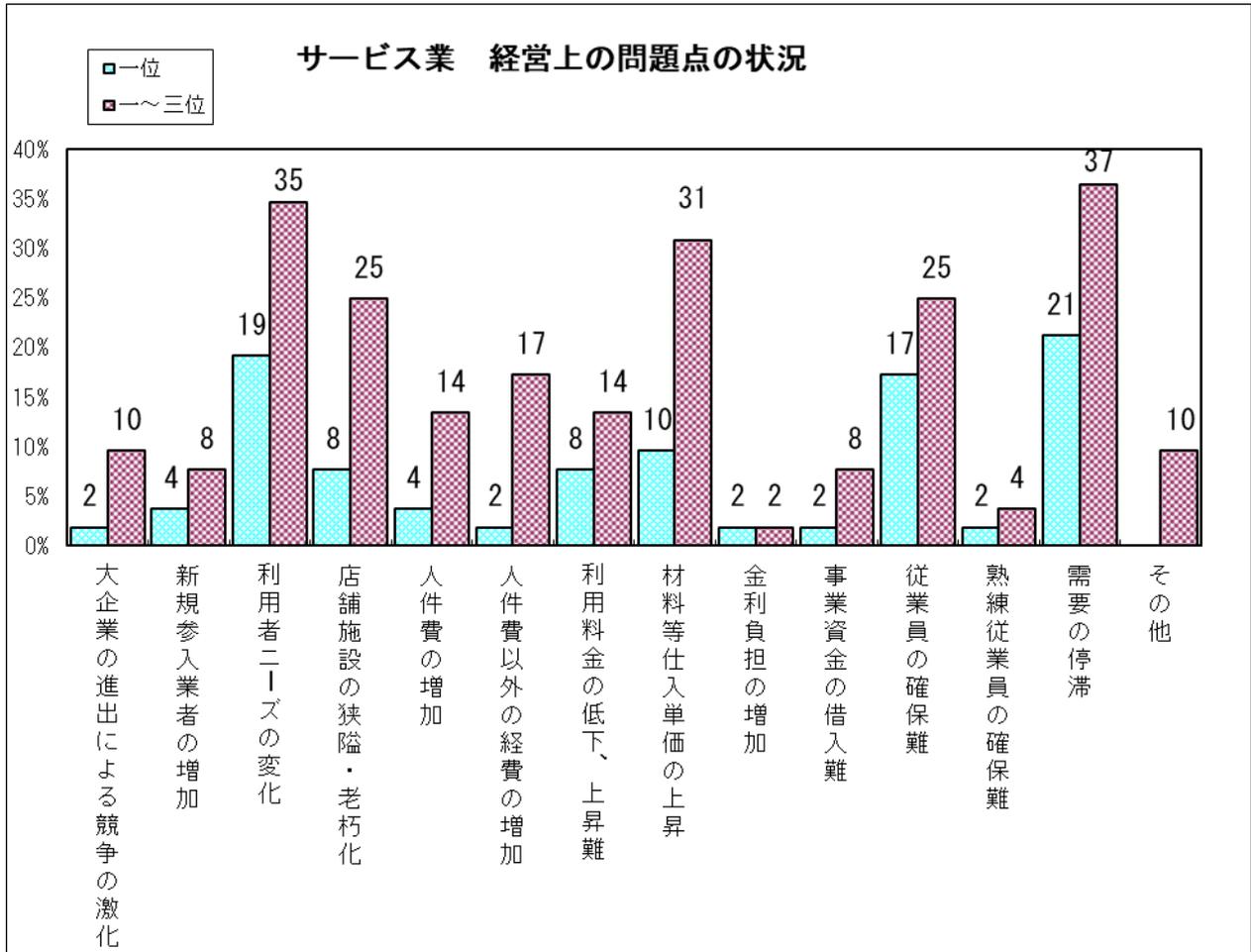


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあがる項目は、

- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 24.0%→今期 34.6%)
- ・ 「店舗施設の狭隘・老朽化」 (前期 26.0%→今期 25.0%)
- ・ 「材料等仕入単価の上昇」 (前期 44.0%→今期 30.8%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 34.0%→今期 25.0%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 28.0%→今期 36.5%)

となっている。



以上